

第9号

平成16年3月

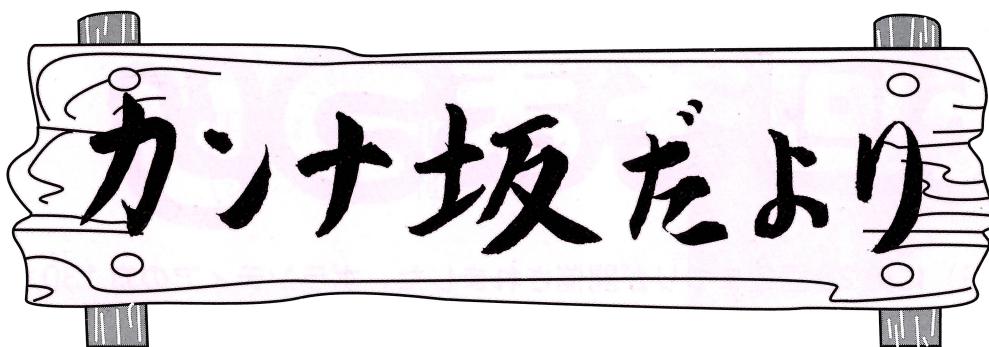
編集発行

九頭竜厚生事業団

九頭竜ワークショップ

広報委員会

☎0779-87-3003



**25周年記念の池周辺で、
収穫祭を楽しみました。**



環境を活かした生活

九頭竜ワークショップ
所長 五十嵐 関

九頭竜ワークショップを見学された方は、誰もが「広くて眺めがいいですね」とおっしゃいます。たしかに当施設の自然環境は有難いことに恵まれています。法人設立当初、景観のよさと広い土地を求めてこの地を選択したことはよかつたと実感しています。お金では買えないおいしい水や空気や景観は、九頭竜ワークショップの宝だと思っています。

ところで、この宝を現在どの程度利用者が自立するための補装具として利用しているでしょうか。高台にあるため多少スロープが多く、利用の不便さがあるけれども、まだまだ活用の方法があると思えるのです。昨年は、せっかく所有している土地を有効に活用しなければと、農園の拡張を図り、果樹や野菜の栽培に力を入れました。この農園は、作物の生育ぶりを目にしたり、収穫や試食を楽しんだけなどが計画できる訳であり、また池周辺や雑木林などの広場を活用すれば、地域との交流も図れるので魅力ある存在となります。

利用者の身体状況に合わせ、施設建物や野外環境について、どのような活用の内容があるか、どのような方法があるかを創意工夫して、活用の拡大を図つていけたらと考えます。

春の訪れと共に、果樹園はさつそく花で楽しませてくれます。鳥はさえずり若葉が芽吹きます。このすばらしい環境を更に、皆さんに意見を聞き、日常生活のリハビリに、レジャーに、学習に、コミュニケーションに手を加えて、大いに活用したいものです。

第26回冬まつり

平成15年12月7日(日)に第26回冬まつりが開催されました。ボランティアの方130余名・保護者の方のご協力により、大盛況に行われました。

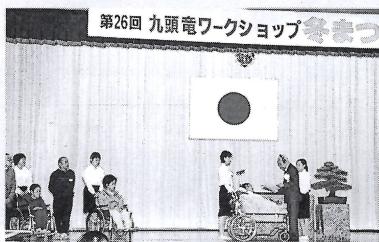
夏は施設に関係のある方々をご招待して行われますが、冬は内部だけで開催されます。10月より準備にかかり、体育館では式典・アトラクション、食堂では模擬店、娯楽室では作品展、職員事務所では模擬店・作品展が行われました。

利用者の方も、盛り沢山の内容に、普段味わえない雰囲気に接し、おまつりを充分楽しめました。

式典

善行表彰 平成15年、一年間一生懸命努力された方を表彰しました。

木村 玲子さん 北村 美嘉さん
本多 弘毅さん 椿坂 登さん
椿坂むめのさん



模擬店

メニュー22品目をご用意し、皆さんに召し上がっていただきました。

寿司・手打ちそば・ラーメン・ソフトクリームや、当施設で栽培しているラン・野菜の販売を行いました。



アトラクション

利用者・保護者・職員のカラオケ・クラブ発表、地域のみなさんや小学校の生徒さんの唄・踊りをはじめ、吟舞、バレー、歌謡ショー、創作劇を楽しみました。



作品展

施設開設25周年関連の作品を中心に、利用者・職員・地域の方の作品等、約200余の出品がありました。また、体験コーナーやゲームコーナーも設け、皆さん楽しめました。



た。
私の子供が平成十二年四月に当施設に入所して、冬まつりを三回経験させて頂きました。

第一回冬まつりを振り返って
保護者会 乾 賢治

一番先に感じたことは、規模の大きさ、利用者の数、職員の数にもよりますが、全館を使用しての企画・準備・実施を見たとき、毎年行っている行事とはいえども、大変なことだなと思いました。なぜならば、職員の方々には日々、勤務の傍ら計画・準備・練習などが必要だからです。特に、アトラクションにおいては、平泉寺町を中心として、他の各種団体のご協力を得て、利用者の方々に喜んでもらっています。このことは一番の励みにもなっていますし、安堵感があります。

私も二年続いで、肉まんの所で、模擬店の協力をさせていただきました。利用者も保護者、ボランティアの方も、充分に冬まつりの雰囲気に酔った光景でした。今年の十二月は、雪も無く雨が若干降りましたが、本当に楽しい一日を過ごさせて頂きました。今後も、継続して行って頂きたく思います。保護者会としても、地域差があつて難しい行事には協力をさせて頂きたいと思います。

又、来年も一年間の手作りの作品や、クラブ活動の内容なども楽しみに待ちたいもので。

白寿のお祝い

田中 直さん
(シルバーケア利用者)



未寿のお祝い

斎藤 ことさん
(デイサービス利用者)



成人のお祝い

坂井 裕子さん
(介護第1係職員)



先日は、私のために成人の日を祝っていた
だき本当にありがとうございました。九頭竜
ワークショップに来て、もうすぐ二年になります。
最初は何もわからずただおろおろして
ばかりでした。自分の中では不安なところも
たくさんありました。そんな中、利用者、職
員の方々が優しい言葉をかけて下さり、私も
頑張らなければと思いました。

仕事ではもちろん、その他のことでも、私が頑張れることはあります。両親をはじめ、今まで支えてくれたまわりの方々のお蔭で、今の私があると思います。これからは、私達、新成人も活躍していくかなければなりま

せん。いろいろな人達への感謝の気持ちを忘
れず、今まで得てきたものを、これから活
かせたら良いと思います。

まだまだ、ご迷惑をおかけする点もたくさん
あると思います。でも、成人を迎える、新たな
スタートラインに立ったと思い、さらに自己
向上できるように努め、私も大人だとい
うことを自覚し、何事にも責任感を持ち、
自分の行動に胸をはれるような大人になれる
よう頑張っていきたいです。どうぞこれから
もよろしくお願いします。

坂井 裕子

皆様、おめでとうございます

25年振り返って

福祉介護課長 兼 生活支援課長 松 谷 悅 子

風光明媚な大野盆地を一望できるこの高台に、福祉施設九頭竜ワークショップが建設され、早や25年。私は開設以来ここで勤めさせて頂き、楽しいこと、嬉しいこと、悲しいこと、辛いことが今、走馬灯のように思い出されます。

昭和53年の開設時には、県道から施設までの道路はガタガタでした。雨の日はぬかるんで長靴を履き、担架で入所者をお迎えしたこともありました。

豪雪時には、業者の車が施設まで入れず、片道5kmほどの雪道の中を、使用済みのオムツを背負い、雪に足をとられながら運んだものでした。

そして、施設も大きくなるにつれ、水不足に直面。生茂る山中の水源を探し、重いパイプを担いで水道工事を手伝ったものでした。その時の辛く、きつい作業を成し得た使命感・充実感は、今はとても楽しい想い出です。

25年経過した今日では、道路も拡張されて完全舗装となり、路線バスが施設の玄関に横付けされるまでになりました。夢のような発展ぶりです。

現在、当施設には300余名の方々がご利用になっておられます、これまで多くの方との出会いがあり、又淋しく悲しい別れがありました。

毎年の如く体力の低下や不治の病で、亡くなられた方もたくさんおられます。そんな折にはいつも、「私達のお世話を充分であっただろうか。」「少しでもご家族の代わりになれたのだろうか。」「気持ち安らかに受けとめて頂けたのだろうか。」と反省しています。生前関わりが多いほど、それだけ悲しさ、申し訳なさを強く感じるのは、私だけでしょうか。

一方重度の障害で、ほぼ全面介助の状態で入所し、自助努力により、毎日リハビリに専念されて機能回復された方。入所時には、慣れない施設生活で緊張し、中々私達の声かけにも答えて下さらなかった方が、何日か過ぎて自ら笑顔で一言二言と話しかけられたり、「ありがとう。」とお礼を言われた方。お酒を多く飲まれ、体調を悪くされた方。ヘビースモーカーだった方が、3年がかりで施設上げての禁煙運動で遂にタバコを止められた方。ご自分の人生を悲観して悩み、悲しんでいたが、血色良い笑顔で食事が美味しいと言って下さった方。そして、入所者同士の恋が芽生え、施設内で華燭の典を挙げられ、仲睦まじくお互いを励まし、助け合いながら生活されている6組の方の姿等に接しました。本当に涙が出る程嬉しく、この仕事をさせて頂いて一番幸せを感じています。この出会いこそ働きがいを感じ、感激する瞬間でございます。

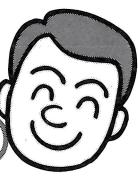
身体にハンディを背負った方は、悩みも多いと思います。私達職員は、日頃より心身共に健康に心がけ、利用者から頼られるよう努めなければと思っております。

私の人生の大半を、九頭竜ワークショップで皆様と関わってこれた事に深く感謝します。これからも皆様の笑顔を最大の喜びとして感じられる私でありたいものです。



松谷 悅子さん	福祉介護課長 兼 生活支援課長
山端 玲子さん	就労第四係長
美濃屋 美智枝さん	福祉介護課長補佐
南 フミさん	介護第一係長
光澤 郁子さん	介護第一係長
谷口 美和子さん	給食係栄養士
谷口 トミ子さん	機能訓練係
横山 稲子さん	就労第四係

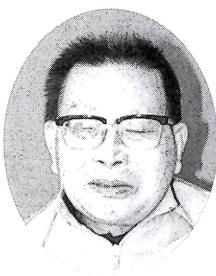
永年勤続表彰者(25年)



25年間お世話になりました。 これからも、よろしくお願ひします。

(昭和53年から入所しています)

富田 徳一さん
療護利用者 岐阜県
いつも有りがとう。体調に気をつけて、頑張ります。



高橋 一康さん
療護利用者 岐阜県
今まで色々とありましたが、これからも、よろしく。



笠場 勝祐さん
療護利用者 勝山市
身も心も老化してしまいましたが、二十歳という歳月を顧みると、今まで何とか生きてきたような…でも生懸命過ぎたような、そんな日々の頃です。



木村 玲子さん
療護利用者 滋賀県
これからも、よろしくお願いします。



(故)今井さゑ子さん
療護利用者 岐阜県
平成十六年三月一日、ご逝去。ご冥福をお祈りいたします。



今井 静子さん
療護利用者 岐阜県
昨年、妹と故郷に帰れてうれしかった。



古井 光生さん
療護利用者 富山県
色々あった二十五年、これからもマイペースでいくのでよろしくお願ひします。



澤山 道子さん
療護利用者 京都府
施設内外が、随分変わりましたね。特に、玄関から玄関へ向かって、とても淋しいです…



西島 久子さん
療護利用者 福井市
今井さゑちゃんが亡くなつて、とても淋しいです…



塩見 靖彦さん
第一セルフ利用者 京都府
授産作業の傍ら、パソコン教室に通っています。



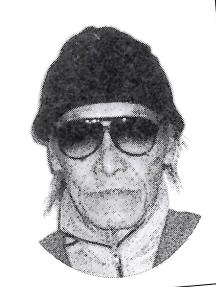
木村 唯志さん
第一セルフ利用者 岐阜県
好きな俳句を楽しんでいます。



谷澤 潤次さん
第一セルフ利用者 坂井町
春になつたら一人で外出したいです。



大槻 茂さん
第一セルフ利用者 京都府
感謝、感謝の毎日です。



森 千鶴さん
第一セルフ利用者 滋賀県
最近は、電動車イスで活動しています。



富田恵美子さん
第一セルフ利用者 岐阜県
毎日、作業を頑張っています。



たのはビーン
バック投げと
電動車椅子で
のスラローム
でした。どちらも初めての競技でどの様に練習すればよいか分からず、自分なりに考えて練習し、競技に臨んだのです。

よい成績を残す事は出来ませんでしたが、大変有意義な体験をさせて頂きました。今後的人生の中で励みになると思います。皆さんの応援、ありがとうございます。

よい成績を残す事は出来ませんでしたが、

競技でどの様に練習すればよいか分からず、自分なりに考えて練習し、競技に臨んだのです。

僕が出場したのはビーンバック投げと電動車椅子でのスラロームでした。どちらも初めての競技でどの様に練習すればよいか分からず、自分なりに考えて練習し、競技に臨んだのです。

河合 裕介
療護部利用者

第三セルフ利用者
広沢 いづみ

わかふじ国体に出場して



私は十年前にも国体に出場し、今回で二度目となります。当時

を思い出しながら練習をしました。毎日の練習は辛い時もありましたが、久保田さんや隆茂さん、私が、私を支えてくれたので、

楽しく練習出来ました。百m走の結果は六位でしたが、今回悔いなく走れた事

は一生の思い出になります。最後に、毎日付き合ってくれた隆茂さん、本当に有難うございました。



療護部利用者 竹内 隆茂

今回のショッピングでは、ボランティアの介助をつけてもらいましたが、とてもよかったです。広くて迷路のようなコパの中を、一通りみることも

できました。また、ボランティアの方と年齢も近いので話が合い、その方のご主人も、お

酒が大変好きとのことで会話が盛りあがりました。この方はボランティアの経験が豊富な様で、服の選び方や金銭面、介助でとてもよくしてくれました。また機会があれば、同じ方にボランティアについてもらいたいと思います。



療護部利用者 山下 学

ベルショッピングの時から何度も来てもらっている義姉と、今年もショッピングに参加しました。義姉が来てくれて、いつも嬉しく思いますが、それにも増して今年は、5・6年ぶりに姪に会い、一緒に参加できたことがとても嬉しかったです。姪は保母をしていて、子ども達が写っている携帯の写真を楽しそうに見せてくれました。仕事が忙しい中、ショッ

ピングに参加してくれたので、何か欲しいものを買ってあげたかったのですが、話に夢中になり、時間の余裕がなく何も買ってあげることが出来ず残念でした。また、一緒に参加する機会があれば、今度こそプレゼントしたいと思います。



健康づくり を 目指して

健康管理（特に肥満）については、以前より問題になつておらず、利用者及び職員の一人一人の意識が薄いので、まず職員の意識づけからとすることをスタートしました。職員は、最新の健康診断のデータをもとにBMI24%以上の人の、毎日の体重測定を実施し、測定することで意識をもつてもらうことにしました。

利用者の中にはBMI26%以上の方が約26名程います。健康について、関心があるものの、肥満となると実際病気でないと思っている人が多く、なかなか意識づけが困難でした。

そこで今回、坪川部長より「自立した生活を送る為には、健康でなければできない」という事などを講義していただきました。

毎日の食事・間食・運動・外出時の買い物・体質等いろいろな原因が考えられます。

今後一人一人個別に面談して、適正体重に向かうように計画をたて実施していきます。

今年のテーマにもあるように、利用者・職員共々健康について自覚し、実践に努力します。

健康推進委員

禁 煙

第一セルフ利用者 木本照男



平成15年4月1日より、施設全面禁煙だと忠告を受けていた頃、たばこの大好きな私は、「なんで、やめなあかんのや、やめる位なら死んだ方が良い。」と正直、思ひ悩んだ事もありました。

それが今では、懐かしく思えるようになりました。あんなに自分では、「やめられない！」と思っていたたばこを、平成14年3月中頃に友人や、職員の協力と励ましお蔭で、「絶対やめよう。」と心に決め実行できました。それ以後まだ一本も吸っていません。思つたより、すんなりやめられた事が不思議なくらいです。

やめたからといって特別、体調に変わったことはないのですが、食事がとてもおいしく頂けるようになりました。これからも、たばこを吸う事なく、禁煙社会の中で、元気に過ごしていきたいです。



**会長として
自治会会长**

小寺 春美

十五年
度の自治
会役員に
なつて早
や、一年
が過ぎようとしています。
平成十五年四月一日より、
施設では「全館禁煙」を実
施すると同時に、私の会長
の任務が始まった訳ですが、
これまでになく晴れた気持
ちで就くことが出来ました。
といいますのは実は、私
は以前たばこを吸つていて

役員	会長
木野 豊	上吉
水村 千代子	服山
千代子	川川
司 雪美	部下
又一浩	野野
又一浩	寺春
修子	政人
子子	子人
子子	美

一年間ご苦労様でした

**平成十五年度
自治会役員**

度こそやめるぞ！」と心に
決めて禁煙に挑みました。し
かし、数日後には我慢出来
ず吸つてしまつてきました。
思い悩んでいる平成十四年
十月の頃、友人から「いい
加減にやめないのなら、友
達の縁を切りたい。」といっ
きつい一言で目が覚めました。
こんな事で、友人を無くし
てはいけない、と切実に感
じその日を境にたばこをや
めました。持つべきものは
友達だとつくづく思い、友
人には本当に感謝しています。
禁煙が出来たことによつて
自治会会长の任務に就き晴
れた気持ちでスタート出来
ました。どうもありがとうございました。

この一年、色々と施設側
にも迷惑をかけたと思いま
すが、皆さんのお蔭で無事
ここまで務めることができ
ました。どうもありがとうございました。



何度も施設側から、やめる
よう忠告を受け、その度に「今
度こそやめるぞ！」と心に
決めて禁煙に挑みました。し
かし、数日後には我慢出来
ず吸つてしまつてきました。
思い悩んでいる平成十四年
十月の頃、友人から「いい
加減にやめないのなら、友
達の縁を切りたい。」といっ
きつい一言で目が覚めました。
こんな事で、友人を無くし
てはいけない、と切実に感
じその日を境にたばこをや
めました。持つべきものは
友達だとつくづく思い、友
人には本当に感謝しています。
禁煙が出来たことによつて
自治会会长の任務に就き晴
れた気持ちでスタート出来
ました。どうもありがとうございました。



からグラウンドにかけて立派なスロープを作り、手製のそりで滑り降りました。少し肌寒くはありましたが、せんざいやしうが湯など、温かい飲み物を用意し、利用者、職員と共に、なごやかなひとときを過ごすことが出来ました。せっかく降った雪をもつと工夫ができたら、雪国の生活も楽しいものになるでしょう。

2月準備委員

今年は、大雪に見舞われましたが、ひとときの雪の晴れ間を利用して、2月13日雪像づくり、2月16日そり遊びと、雪に親しむことが出来ました。

雪像づくりでは、今年の干支のおさるさん、トトロ、サザエさんなど、とても工夫された力作が揃いました。夜には、小さなかまくら内や雪像の回りにローソクの火を入れました。雪ごしに瞬く明かりが幻想的でした。

そり遊びでは、正面玄関



リハビリ*ing*

「療護の方と老健の方の交流」

毎日行われている機能訓練。今回は、いつも繰り返されているリハビリの一場面を取り上げてみたいと思います。

老健利用者の向川さんは、療護利用者の海道さんが大好きです。唄を聞かせたり、手を握ったり。リハビリ室に来た向川さんは、真っ先に海道さんを探し出します。そして、見つけるやすく、「こっちこっち」と手招きします。それを見た海道さん、ニコニコ笑って「おばちゃん、おばちゃん」と言いながら寄っていきます。

手を握ったり、頭をさすったり、そして「♪♪あら、よいしょ、よいしょ…♪♪」といつものように唄い出します。それを聞かされ、きょとんとしている海道さん、あまりにも昔の唄についていけません。私たちスタッフも「きっと江戸時代の唄ですね？良くご存知ですね、いや一大したもんですね」と余計な一言。それを聞いて「えっ、あんたら知らんのけ、そんなあほな」とびっくり、今度は「お手々、つないで、のみちをゆけば…♪♪」と唄いただします。やっと安心した海道さん、両手を動かしながらニコニコと嬉しそうに笑い出します。

「じゃ、平行棒で歩きませんか」とスタッフ。いつもなら、ここで狸寝入りをする向川さん、でも、今日は海道さんが見ています。「よっしゃ」と言いながら「おばちゃん、歩けるの見したるでの、みずえちゃんも早

よ歩けるようになるんやで」と、両手をこすり気合いを入れて、歩き出します。「一、二、一、二……」

私たちの施設は、体育館後方の広いスペースを機能訓練室として使っています。そして、ここで老健利用者の方と療護利用者の方が、リハビリという時間を共に過ごします。今回挙げた場面は、自然と生まれた交流の一つですが、他にもこのような例がいくつあります。

相互交流の中で元気になる利用者の方を見ながら、日々仕事をしている私たちですが、癒されるのは私たちの方かも知れませんね。

機能訓練係長 森田 亮司



事業報告

資金収支計算書

(自) 平成14年4月1日 (至) 平成15年3月31日

項目	金額
福祉活動による収入	953,923,387
福祉活動による支出	808,897,188
福祉活動による差額	145,026,199
施設整備による収入	0
施設整備による支出	16,408,596
施設整備による差額	-16,408,596
財務活動による収入	0
財務活動による支出	38,406,000
財務活動による差額	-38,406,000
当期資金収支差額合計	79,361,912
前期未払資金残高	302,802,315
当期末未払資金残高	382,164,227

事業活動収支計算書

(自) 平成14年4月1日 (至) 平成15年3月31日

項目	金額
事業活動による収入	815,096,526
事業活動による支出	779,258,403
事業活動による差額	35,838,123
事業活動外による収入	138,826,861
事業活動外による支出	29,640,285
事業活動外による差額	109,186,576
特別収入	0
特別支出	0
当期活動収支差額	144,957,698
前期繰越活動収支差額	470,700,878
当期末繰越活動収支差額	615,658,576
次期繰越活動収支差額	615,658,576

貸借対照表

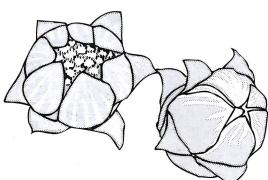
平成15年3月31日現在

資産の部	
流動資産	564,347,472
固定資産	3,064,215,066
基本財産	2,410,616,656
その他固定資産	653,598,410
資産の部合計	3,628,562,538
負債の部	
流動負債	182,183,245
固定負債	-115,425,000
負債の部合計	66,758,245
純資産の部	
基本金	2,798,145,717
その他の積立金	148,000,000
次期繰越活動収支差額	615,658,576
純資産の部合計	3,561,804,293
負債及び純資産の部合計	3,628,562,538

老人施設会計

(自) 平成14年4月1日 (至) 平成15年3月31日

収入の部	
項目	金額
経常活動による収入	385,465,629
施設介護報酬	312,610,136
居宅介護収入	27,178,320
利用料収入	39,664,734
その他収入	6,012,439
事業外収入	2,852,297
合計	388,317,926
支出の部	
項目	金額
経常活動による支出	294,137,992
人件費支出	311,299,926
材料費支出	34,174,330
事業経費	19,666,240
経理区分間繰入金支出	25,000,000
その他特別温室	3,897,496
財務活動による支出	45,096,677
合計	339,234,669
当期資金収支差額	49,083,257



九頭龍ワークショッブ
俳遊会初句会作品

平成十六年一月十二日

一
七草のつもりですする一人膳
南 中村昭南

二
生かされし思いは強き年賀式 健志治

三
うきうきと齡忘れてお正月 木村唯志

四
初詣絵馬に切なる願いあり 山下悦子

五
初日の出霧をくぐつて雑煮膳 前原甚四郎

六
古寺の梵鐘鳴りて年明くる 小寺五十嵐俊夫

七
書初めに今年の目標書きにける 古井春美

八
皆集い餅の数聞く大晦日 松浦とし

九
市原きみよ



小山娘をパチリ!

写真クラブ



第1セルフ利用者
荒川 裕次

第3セルフ利用者
下原 啓良



感謝

シルバー利用者
眞徳 正康

明朗

第2セルフ利用者
桙田 哲三

前進

療護利用者
古井 光生

大寒

第3セルフ利用者
松田ひろえ

習字クラブ

部屋のベランダから
雪景色を写しました

第2セルフ利用者
高木洋二郎



編集後記

「カンナ坂だより」を読んで頂き有り難うございます。
新しい年を迎える月、気持ちも新たに皆様のご意見、利用者の声を取
り入れて、より多くの方に、より身近に、楽しく読んで頂ける広報紙を作
成していきたいと思っています。本年もよろしくお願いいたします。
(松田き)

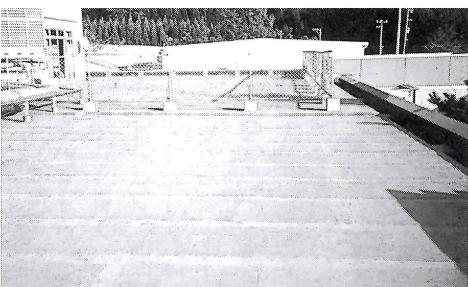
事業費
562,800円
(内助成金、
340,000円)



赤い羽根共同募金配分事業

■非常災害時の避難用テントとして、福井県共同募金会より助成を頂き六張購入させて頂きました。

事業費 6,333,600円
(内助成金、
3,160,000円)



■授産部作業棟に雨漏りが生じたため、財団法人車輪競技公益資金記念財団の助成金により、この程、補修工事を行い立派に完成しました。